

- 1 教育事業名 令和元年度 幼児からの自然体験活動指導者研修
- 2 ね ら い 渡嘉敷島の自然を活かした自然体験プログラムを「幼稚園教諭」や「保育士」「保育教諭」等が五感を使って体験することによって、自然体験活動の意義を理解し、今後の指導力向上を担うことを目的とする。
- 3 期 日 令和元年6月21日(金)～6月22日(土) 1泊2日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集定員 80名程度
- 6 参加人数 17名
- 7 参加者内訳 幼稚園教諭1名、保育士14名、学童職員2名、(男性2名、女性15名)
- 8 講 師
  - ・照屋 建太氏(沖縄キリスト教短期大学保育科教授)  
講義「体験活動の意義と幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領解説」
  - ・音野 太志氏(特定非営利活動法人沖縄ウォーターパトロールシステム理事長)  
講義「幼児期における運動と水辺の安全管理」
  - ・照屋 寛信氏(手作り遊び工房ふぁーかんだー代表)  
実習「自然素材を用いたクラフト指導」
- 9 実施プログラム

幼児からの自然体験活動指導者研修

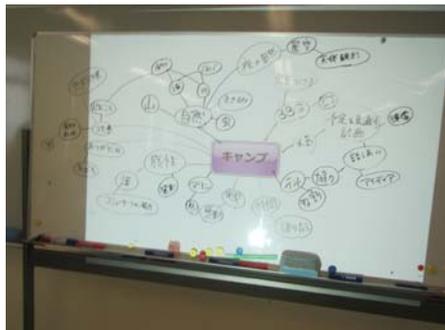
6/21 (金)	9:00		10:00		11:10		11:40		12:00		13:00		14:30		16:30		17:30		19:00		20:30	
		那覇市泊港 とまりん集合	フェリー 出航	渡嘉敷港 着 本館 移動	開校式	屋食	講義Ⅰ 「体験活動の意義と幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型こども園教育保育要領解説」	講義Ⅱ 「幼児期における運動と水辺の安全管理」	休憩	夕食 入浴	実習Ⅰ 自然素材を用いたクラフト	情報交換会										
6/22 (土)	6:00	7:00	8:30	9:00	11:30		12:00	13:00	14:30		16:00		17:10									
	起床 洗面 健康 確認	朝のつどい 朝食 清CH	移動	移動	実習Ⅱ 「体験活動の指導法①」 マリン活動 実習 クラフト②		実習Ⅲ 「体験活動の指導法②」 野外炊事		閉校式	移動	フェリー 出航	那覇市泊港 にて解散										

※体調不良等によりマリン活動に参加できない参加者は「実習クラフト②」を行う。

10 事業の様子  
(1日目)



講義Ⅰ



講義Ⅰ



講義Ⅱ



講義Ⅱ



実習Ⅰ



実習Ⅰ

(2日目)



体験スノーケル準備



体験スノーケル・入水



野外炊事オリエンテーション



野外炊事に挑戦



野外炊事火力調整



閉校式・所長挨拶

## 11 エピソード(参加者の声、アンケート)

### 【参加者の声】

- ・事業一つ一つに学ぶことが多く、自分のスキルアップにつながった。
- ・講義や体験活動のどれもが学びの多いものとなった。是非、この経験を踏まえ園に還元していきたい。
- ・リスクマネジメントの講義がとても為になった。
- ・他の園の先生達との交流があり、仲良くなれたし、いろいろ学べた。
- ・講義から実習まで新しく知ることや体験することにあふれていた。
- ・知識を深めることができ、新しく知ることも多かった。
- ・自然の植物で作る「おもちゃ」もあり、とても為になった。
- ・二日間をとおして、普段学べない内容や即現場でも取り組んでいけたらと思うものばかりだった。
- ・実際の保育に繋がる内容だったので大変良かった。
- ・ものづくりや体験といった普段できない事ができて満足した。

## 12 担当者所見

### (1) 成果

- ・体験活動を難しく考えるのではなく、身近な環境でも体験活動ができるということを学び、日常の活動の中でよりよい体験活動をしようという意識を持つことができた。
- ・直ぐに「やっては駄目」というのでは無く、指導者が安全管理をすることで体験活動を積み重ねていけることにも気づいた様子だった。
- ・日常生活の中で、危険がどこにあるのかを指導者が事前に把握する必要があることも理解していた。

### (2) 課題

- ・梅雨の影響により一時雷雨となり当初予定のマリン活動が行えず、スケジュールに変更が出た。
- ・保育士不足の影響で、参加したい、参加させたいけど参加させることができませんでしたという回答もあったので、開催時期の調整が今後必要になる。